

2024年度～2029年度にPre-CCまたはPost-CC OSCEを受験した（する）医学生皆さんへ 研究協力をお願いについて

本研究の対象者に該当する可能性のある方で診療情報等を研究目的に利用または提供されることを希望されない場合は、下記の相談窓口へお問い合わせ下さい。ご連絡がない場合においては、ご了承をいただいたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究にご協力を賜りますようお願い申し上げます。
なお、この研究は倫理審査委員会の審査を受け、研究責任者の所属機関の長の承認を得て行っているものです。

1．研究の対象

2024 年 4 月 1 日～2030 年 3 月 31 日に金沢医科大学で Pre-CC OSCE または Post-CC OSCE を受験した方

2．研究の概要

研究課題名	医学生が受験する模擬的診療能力テストにおける 受験者成績の信頼性向上に関する研究	
研究期間	研究承認日	～ 2031 年 3 月 31 日
目標数	各年度の Pre-および Post-CC OSCE 受験者全員	

< 研究の背景 >

日本の大学の医学部では、診療参加型臨床実習の前後に客観的臨床能力試験（それぞれ Pre-および Post-CC OSCE）を実施しています。両試験は受験者にとっても社会にとってもたいへん利害の大きな試験であるため、高い公平性が求められます。

従来、これらの試験における受験者の成績には、課題毎の合計点（Pre-CC OSCE）または全評価項目の平均点（Post-CC OSCE）を用いていました。しかし、これらの数値には受験者の能力以外に多種多様な誤差が含まれており、その信頼性の指標である ϕ 係数は高くても 0.65 以下でした。一般に、たいへん利害の大きな試験で目標となるレベルは 0.90 以上とされますので、十分なレベルとは言えませんでした。

< 本研究の目的 >

そこで本研究では、CBT でも採用されているテスト理論（項目反応理論と呼ばれます）を採用し、受験者の能力、評価者の厳しさ、課題や項目の難しさなどを分離推定します。予備的に行った項目反応モデルによる解析では、得られた受験者能力値の信頼性は 0.91 程度となり、0.90 を超える値となっています。この試験に適用可能な項目反応モデルにも多くのバリエーションがありますので、本研究では複数のモデルによる解析を行って、Pre-および Post-CC OSCE に適した解析法を明らかにします。さらに、各大学の試験実施環境に合わせてより信頼性を高めるような試験運用を工夫し、安定した試験運用の実現を目指します。

3．研究の目的・方法について

この研究は、OSCEの解析方法の信頼性を向上し、公平な成績判定を行うとともに、課題数を減らして受験者や教職員の負荷を軽減することを目的としています。2024年度～2029年度に研究参加大学で実施した（する）Pre-およびPost-CC OSCEの評点データを項目反応モデルにより解析し、受験者能力値の信頼性指標などを算出します。この値が十分かどうかを判断するとともに、同時に算出する適合度統計量などの情報から、さらなる信頼性向上のための改善案を策定します。

4．研究に用いる試料・情報の種類

この研究では、試験の際に得た以下のような情報を使用します。

試験種別（Pre/Post）、試験実施年度、実施月、対象学年、受験者名、評価者名、標準模擬患者名、列番号、課題番号、課題種別（Pre-CC OSCEのみ）、項目番号、評点

5．外部への試料・情報の提供・公表

この研究では、試験を実施した大学内で受験者名、評価者名、模擬患者を匿名化した後、電気通信大学および金沢大学の解析担当者に、セキュリティが確保されたファイル転送システムを用いて送付します。

6．プライバシーの保護について

この研究にご参加いただいた場合、この研究に関するデータは、個人を特定できない形式に記号化した番号により管理されますので、あなたの個人情報が外部に漏れることは一切ありません。

なおこの研究で得られた結果は学会や雑誌等で発表されることがあります。また、近年論文発表の際に匿名化後の研究データを研究者コミュニティに公開することが強く推奨されており、本研究でも論文出版に伴い匿名化データが研究者コミュニティに公開される場合があります。このような場合にも、あなたの個人情報などのプライバシーに関するものが公表されることは一切ありません。

7．研究組織

研究代表者 野村英樹（金沢大学附属病院・総合診療部、特任教授）

（１）金沢大学における研究実施体制

研究責任者：

附属病院総合診療部 特任教授 野村英樹 研究の統括、多相ラッシュモデルによる解析

研究分担者：

医薬保健学域医学系医学教育学 教授 太田邦雄 カスタマイズした多相IRT実装法の開発

（２）共同研究機関と研究責任者

研究機関： 電気通信大学大学院

研究責任者： 情報理工学研究科 情報・ネットワーク工学専攻 准教授 宇都雅輝

業務内容： 各種多相IRTによる解析、評価者移動法提案プログラムの開発

研究機関： 金沢医科大学
研究責任者： 医学部 医学教育学 教授 堀 有行
業務内容： カスタマイズした多相IRT実装法の開発

研究機関： 信州大学
研究責任者： 医学部・医学部附属病院 医学教育研修センター 講師 森 淳一郎
業務内容： カスタマイズした多相IRT実装法の開発

8．本研究に係る資金ならびに利益相反について

この研究は大学の運営費を用いて行われます。また、この研究の研究担当者は、この研究において企業等との間に利害関係はありません。この研究の研究担当者は、所属研究機関の規定に基づく利益相反審査機関へ自己申告し、その審査と承認を得ています。従って、この研究の研究担当者は、この研究の実施の際に個人的な利益のために専門的な判断を曲げるようなことは一切いたしません。

9．研究への不参加の自由について

情報が当該研究に用いられることについて、受験者の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の問い合わせ先までお申出ください。また、研究の開始後でも同意を撤回することができます。なお、解析終了後は取下げが難しい場合がありますことをご了承下さい。

10．研究に関する窓口

この研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することができますのでお申出下さい。

< 本学における相談窓口 >

研究責任者 金沢医科大学医学部 医学教育学 堀 有行
住所 〒920-0293 石川県河北郡内灘町大学 1-1
電話 076-286-2211（内線25265）
メールアドレス medu@kanazawa-med.ac.jp